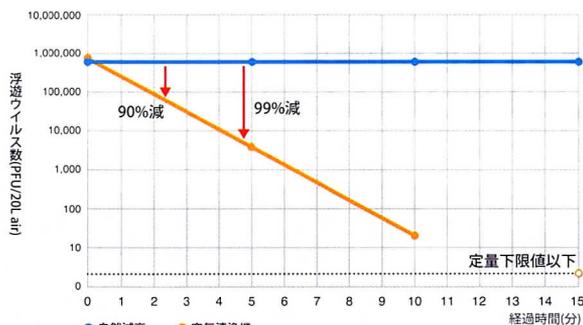


# トルネックスの電子式集塵フィルタはウイルスサイズ粒子もしっかり捕集、 浮遊ウイルスでの除去効果も確認できました。

## ■浮遊ウイルス除去性能評価試験



試験機関：(一財)北里環境科学センター 試験報告書番号：北生発2020\_0328号  
試験方法：25mの試験空間において空気清浄機（風量：15m<sup>3</sup>/min）によるウイルス数の変化を測定

空気清浄機を作動しない場合(自然減衰)では、15分経過しても浮遊ウイルス数がほとんど減少しませんが、空気清浄機を作動させると、

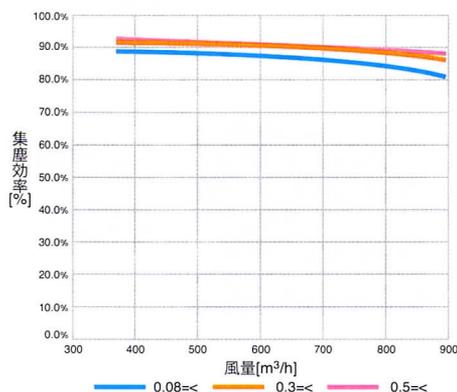
3分で自然減衰の90%以下、

5分で自然減衰の99%以下に減少しました。

※空気中の有害物質を全て除去できるものではありません。電子式集塵フィルタでは、新型コロナウイルスによる検証はしていません。

※グラフは空気清浄機（CETXGF02）による測定データ

## ■粉塵除去性能評価試験



### ウイルスと同じ大きさの粒子を捕集

トルネックスの電子式集塵フィルタは、ウイルスとほとんど同じ粒子サイズ(0.08μm)の粉塵でも、フィルタを1回通過した時の捕集効率が非常に高くなっています。

※空気中の有害物質を全て除去できるものではありません。電子式集塵フィルタでは、新型コロナウイルスによる検証はしていません。

※グラフはフィルタユニットによる測定データ（当社調べ）

## 換気量 = 「相当換気量」です

空気清浄機の効果は、**処理風量 × 捕集効率 = 相当換気量** で選びましょう。

(例) 風量900m<sup>3</sup>/h × 捕集効率90% = 相当換気量810m<sup>3</sup>/hの場合、10m × 10m × 2.5mの部屋であれば、約3回換気回数を増やすことができます。

フィルタの捕集効率が高くても、風量が少なければ、室内の空気をきれいにできる量は少なくなります。

日本空気清浄協会の「空気清浄機性能評価指針」では、空気清浄機が清浄な空気と交換する量は換気量と同等に考えることが可能としています。

※トルネックスの電子式集塵フィルタで除去できる対象物質は、臭いやガス状物質以外の空気中に浮遊する粉塵、微生物、たばこ煙になります。

定期メンテナンスをお勧めします。

トルネックスの飛沫対策空気清浄機は定期的な保守メンテナンスが必要です。弊社または正規代理店とのメンテナンス契約をお勧めします。お手入れしないまま使い続けると、故障・破損の原因になります。



【お見積・ご相談はこちらまで】

株式会社トルネックス 本社/ショールーム

〒103-0024 東京都中央区日本橋小舟町6-6 小倉ビルB1

☎ **03-5643-5800** 9:00~17:30 (土日祝日を除く)

【お問合せメール】

✉ [customer@tornex.co.jp](mailto:customer@tornex.co.jp)

🌐 <https://www.tornex.co.jp/>